

テーマに快適 環境、安全衛生

日塗装埼玉がセミナー

日本塗装工業会埼玉支部（松尾康司支部長）は14日、さいたま市の埼玉建産連研修センターで環境セミナーを開いた。快適な環境づくりや安全衛生の観点から3人の講師が講演した。



あいさつする松尾会長

その後藤英太所長が「化学物質リスクアセスメント」労働安全衛生法の改正」、精和産業の奈良輝之氏が「災害現場における高圧洗浄機の役割とメンテナンス」をテーマに講演した。

後藤所長は、化学物質リスクアセスメント実施のための手順や見積もり方法、注意点などを伝えた。

同リスクアセスメントは、化学物質などの危険性や有害性を特定し、使用する労働者への危険や健康被害が生じる程度を見積もることによってリスク低減を検討する。

厚生労働省は、一定の危険有害性を持つ640の化学物質を扱う事業場に対し、6月1日からリスクアセスメントの実施を義務付けている。